

当会で把握している 橋本操さんの功績

1953年	3月	・誕生
1986年	6月	・ALSの診断を受ける
1987年	5月	・車椅子使用開始
1989年	8月	・現住所（練馬区）に転居
1991年		・経鼻経管栄養開始
1992年	10月	・気管切開
1993年	1月	・人工呼吸器装着
	5月	・「在宅介護支援さくら会」を介護人3名と結成
1995年	3～4月	・全国の患者・介護者、医師、呼吸器関連業者の協力を得て、在宅人工呼吸器患者実態アンケートを実施
	6月	・呼吸器をつけて初めての外出（奥日光へ）
	10月	・伊豆長岡の病院に、同じALS患者さんを見舞う（ピアサポート開始）
1997年	1月	・初めて大臣に陳情に行く（当時の厚生大臣は小泉純一郎。以降、歴代厚生大臣、厚生労働大臣4人に会っている）
	4月	・小諸へ勉強会の下見(後にJALSA講習会として発展)
	5月	・与党・自民党に陳情
1999年	4月	・日本ALS協会副会長就任
2000年		・ALS/MND国際同盟会議（デンマーク）に呼吸器をつけた患者として初めて参加 （操さん自身も呼吸器をつけてから初めての海外渡航となった）
2001年	6月	・日本ALS協会茨城県支部総会にて「私が私であるために」と題する講演を行なう
2003年		・ALS/MND国際同盟会議（ミラノ）に出席
2004年	6月	・NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会設立（以下サポセン）。初代理事長に就任。
	11月	・「脳死とよばれてなお」『現代思想』2004年11月号（青土社）を足の中指のタッチセンサーと意思伝達装置で執筆
2005年		・日本ALS協会会長就任
2006年	11月	・ALS/MND国際同盟会議（横浜）に、ホスト国のALS協会会長として重責を果たす。 ・ALS/MND国際同盟人道賞を受賞（日本人では、日本ALS協会設立に尽力した松岡幸雄氏に続き2人目） ・共編著『生きるカー神経難病ALS患者たちからのメッセージ』（岩波書店）発行
2007年		・NPO法人在宅介護支援さくら会理事長に就任 ・ALS/MND国際同盟会議（トロント）に出席 ・サポセン・研究事業部にて、厚生労働省障害者保健福祉推進事業 「重度障がい者等包括支援を利用した持続可能なALS在宅療養生活支援モデルの実証的研究」を受託 ・平成19年度 厚生労働省障害者総合福祉推進事業 「在宅療養中のALS療養者と支援者双方の自立のための重度障害者等包括支援サービスを利用した療養支援プログラム開発」（プロジェクトメンバー、総括班として参加）
2008年		・厚生労働省医政局「終末期医療の在り方に関する懇親会」に参考人として呼ばれ、意見を述べる ・「尊厳死安楽死の法制化を阻止する会」世話人に就任。 ・平成20年度 厚生労働省障害者総合福祉推進事業 「重度障害者等包括支援を利用した持続可能なALS在宅療養生活支援モデルの実証的研究」
2009年		・日本ALS協会会長から副会長に。 ・厚生労働省 総合福祉部会「障がい者制度改革推進会議」の構成委員として内部障害（難病）に関する政策提言
2010年		・平成22年度 厚生労働省障害者総合福祉推進事業 「介護職員等によるたんの吸引等の実施のための試行事業」をサポセンで受託 ・厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業） 「介護職員等によるたんの吸引等の実施のための試行事業調査」（居宅における特定の者を対象とする場合）。
	2010年7月～2011年7月	・厚生労働省「介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度の在り方に関する検討会」で唯一の呼吸器当事者として、検討会の厚生委員をサポセン理事長として務めた
2011年		・日本ALS協会相談役就任 ・平成23年度 厚生労働省障害者総合福祉推進事業 「障害児・者に対する介護職員等によるたんの吸引等の地域での展開等に関する調査事業」（さくら会として実施し「第三号研修」の啓発を全国を縦断して行なった） ・平成23年度 独立行政法人福祉医療機構（以下WAM）社会福祉振興助成事業「被災者に聞け！進化する介護 2012」（東北3県の重度障がい者を在宅に戻すための実態調査を実施）
2012年		・平成24年度 WAM社会福祉振興助成事業「難病家族に聞け！進化する介護 2013」（難病患者の家族介護者にインタビューを実施）
	2012年～2013年	・平成24年～25年度 難治性疾患等克服研究事業 「患者および患者支援団体等による研究支援体制の構築に関わる研究」
2013年	3月	・還暦
	11月	・厚生労働省科研費でサポセンとして日韓交流会に出席のため韓国へ
2014年		・平成26年度 難治性疾患実用化研究事業 「新規薬剤・機器の研究開発を必要とする難治性神経・筋疾患患者におけるナラティブに基づく難治性疾患データベースと臨床評価法に関する研究」
2016年～2017年		・平成28年度 障害者対策総合研究開発事業 「進行したALS患者等を含む障害者のコミュニケーション支援機器の開発」
2019年	8月31日	・サポセン理事長退任
2020年		・ヘルパーによる「たん吸引」を可能にし、ALS患者の在宅での自立生活を推進した功績によって、第54回吉川英治文化賞受賞。
2022年	8月9日	・逝去